

# 益田圏域(林業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率				達成状況	
			項目名	H24目標	H24実績	単位		達成率
益田-1	高津川流域木材生産拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能林業機械が導入され、ハード面での体制が整いつつある。</li> <li>各事業体が森林経営計画策定(既存実施計画の移行)を行った。</li> <li>主伐地の情報提供、経営計画の作成について素材生産業者の協力が得られることとなった。</li> </ul>	利用間伐による木材生産量(4年間累計値)	9,000	6,912	m3	77%	未達成
益田-2	木材需要拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共建築については、事前協議の実施による円滑な部材供給に取り組むことができている。</li> <li>民間建築についても圏域内の工務店との連携は従来どおり継続している。国交省事業の採択を受けた住宅建築については「乾燥材使用の家」認証を義務付けることとなった。</li> <li>県外での商談会に参加した結果、新たな顧客確保に繋げることができた。また、圏域内製材所のPRパンフレットを作成・配布したことにより、建材商社との繋がりができた。</li> <li>建材商社が開催した東京での建材フェアに出展し、取引が成立したほか、見積及びサンプルの依頼があり、今後の展開が期待できる。</li> </ul>	乾燥材製品供給量(単年)	9,000	8,637	m3	96%	概ね達成
			県外等への木材製品出荷量(単年)	5,500	5,524	m3	100%	達成
			「乾燥材使用の家」供給グループによる高津川流域材使用住宅の建築(単年)	6	4	棟	67%	未達成
益田-3	原木しいたけ生産安定化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>しいたけ原木の安定供給システムについては、クヌギ原木林のGISによる調査を行い、管内資源量を把握した。また原木購入希望調査を行いクヌギ原木の需要を把握の上、吉賀町クヌギ分収林会議を開催し、クヌギ分収林の入札・伐採を行った。</li> <li>サル被害対策については、プロジェクト会議において、モンキードックについての検討を行った。また、サル被害対策の先進地視察(山口県徳地町、阿東町)を行った。</li> <li>栽培技術の継承については、組合員等の実態調査を実施し、しいたけ生産の実態把握に努めた。また、初心者のための原木しいたけ講習会と原木しいたけ植菌講習会を開催し、栽培技術の習得と新規参入者の掘り起こしを行った。</li> </ul>	原木しいたけホダ木5,000本以上の生産者数	20	20	名	100%	達成
			新たな生産者数(累計)	0	0	名	—	—
			人工ホダ場モデル施設(累計)	0	0	施設	—	—